コスモ石油㈱　新・連結中期経営計画
06年度通期進捗状況と今後の方針

2007年5月16日

代表取締役社長　：　木村　彌一
常務取締役　：　近藤　直正，宮本　諭

本日のご説明内容

06年度決算総括と 07年度基本方針		1～2 ページ	代表取締役社長 木村　彌一
中計の進捗と今後の方針	06年度決算の概要	3～6 ページ	常務取締役 宮本　諭
	07年度業績予想の概要	7～8 ページ	
	部門別進捗と今後の方針	9～16 ページ	常務取締役 近藤　直正

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

06年度決算総括

06年度
連結経常利益

→ 在庫評価影響額含む
748億円
（前年同期比▲448億円）

在庫評価影響額除き
720億円
（前年同期比▲22億円）

連結経常利益
（前年同期比）
▲22億円
（05FY）（06FY）
742億→720億

単体
▲254億円
（05FY）（06FY）
302億→48億

- 付加価値向上・合理化　効果：＋53億円
- 製油所稼動低下影響：▲147億円
- その他要因：▲160億円

関係会社
＋232億円
（05FY）（06FY）
440億→672億

- 石油開発会社：＋132億円
- CMアロマ：＋43億円
- その他関係会社等：＋57億円

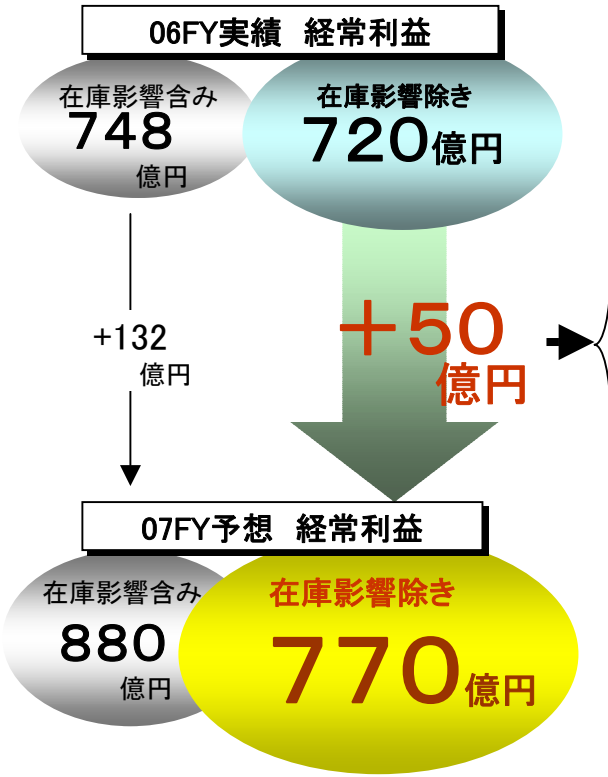
※在庫評価影響額を除く
※石油開発には持分法会社を含む

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

07年度通期業績予想総括

中計最終年度方針

《石油単体》	《石油開発》	《石油化学》	《CSR経営》
付加価値向上・合理化 の推進	生産量の維持・拡大	ミックスキシレン事業	安全管理体制 企業倫理遵守 の強化



中計当初目標：820億円

※中計当初目標の在庫影響額＝ゼロ

石油事業　+76億円

付加価値向上・合理化	効果（3カ年計画達成）	：＋42億円
販売数量効果（輸出含む）		：＋64億円
石油化学	（市況要因による減益）	：▲30億円
前年製油所稼動低下反動		：＋147億円
製油所保全費、償却費増等		：▲147億円

(符号対利益)

石油開発事業　▲26億円

石油開発各社	（市況要因等による減益）	：▲26億円

※「その他事業」は増減金額がゼロのため記述を省略しております。

【06決算】連結　損益ハイライト

	2006年度	前年比
連結経常利益	748億円	△448億円
在庫評価の影響	28億円	△426億円
連結経常利益 （在庫評価の影響除き）	720億円	△22億円

連結経常利益（在庫評価影響除き）　前年比　△22億円の主な要因

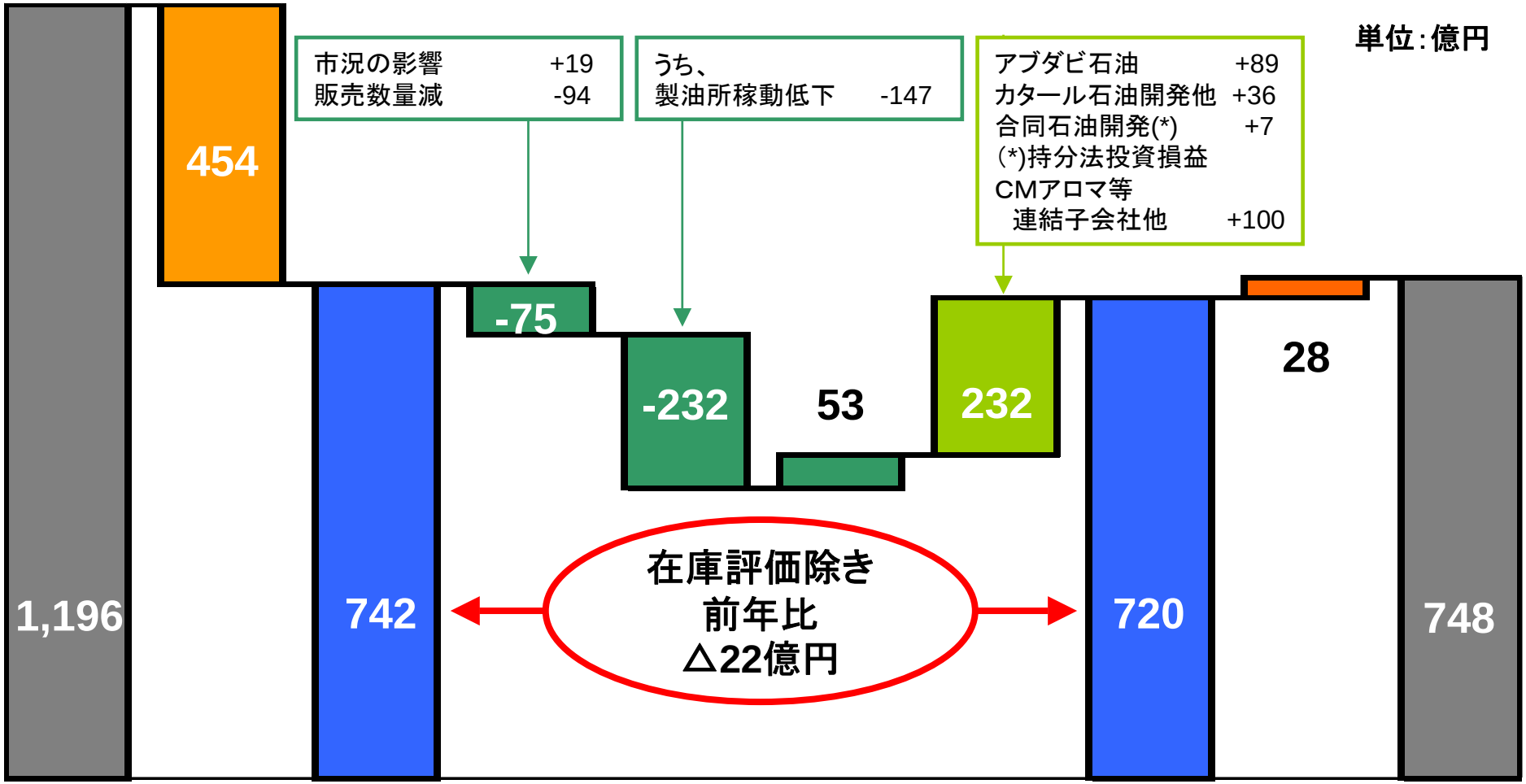
プラス要因	マージンの改善、中計効果
	石油開発、石油化学等連結子会社の貢献
マイナス要因	販売数量減、自家燃コスト上昇
	製油所稼動低下の影響（147億円）

※諸元データは、補足資料1、2を参照ください

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【06決算】連結経常利益　前年比　増減分析

単位：億円



【06決算】連結会社　主要連結子会社・持分法適用会社の実績

＜＜主要連結子会社　経常利益＞＞

単位：億円

		実績	前年比	要因
主な石油開発会社	アブダビ石油	409	89	①原油価格上昇（52.7→64.7$/ BBL） ②円安（109.1→116.5¥/$）他
	カタール石油開発他	35	36	①06年3月より生産開始 ②油価（62.6$/BBL）、為替（116.5円）
	合同石油開発（持分法適用会社）	43	7	①原油価格上昇（53.3→65.2$/BBL） ②円安（110.2→116.4¥/$）
	合計	487	132	
販売子会社		5	△ 12	①SSオープンに伴う経費増 ②販売数量減
コスモ松山石油		14	△ 2	①堅調な市況によりスプレッド拡大 ②自家燃コスト増
CMアロマ		53	43	①06年7月より27万トン体制へ ②堅調な市況によりスプレッド拡大
コスモ石油ルブリカンツ		35	22	コスト未転嫁部分の一部解消
その他連結会社		25	3	

※主要連結子会社別、セグメント別実績については、補足資料4を参照ください

＜＜持分法適用会社＞＞

	実績	前年比
持分法投資損益	99	3

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【06決算】連結　C／F　および　B／Sの概要

単位：億円

	実績	前期末（06/3月末）比	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	250	－	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 359	－	
財務活動によるキャッシュ・フロー	800	－	07年度償還・返済に備え前倒し調達
期末のキャッシュ残高	1,261	695	

	実績	前期末（06/3月末）	増減
総資産	15,792	14,636	1,156
純資産	3,616	－	－
自己資本	3,397	3,125	272
自己資本比率※1	21.5%	21.4%	0.1ポイント改善
有利子負債(ゼロクーポン社債を含む)	6,099	5,224	875
有利子負債依存度	38.6%	35.7%	2.9ポイント悪化
D／Eレシオ（倍）※1	1.8	1.7	0.1ポイント悪化
ネット有利子負債（ゼロクーポン社債を含む）※2	4,838	4,658	180
有利子負債依存度	30.6%	31.8%	1.2ポイント悪化
D／Eレシオ（倍）※1	1.4	1.5	0.1ポイント改善

※1：当期実績については「自己資本（純資産－少数株主持分）」、前期末実績については従来の「株主資本」で計算しています
※2：有利子負債総額から現預金および短期運用資金残高を控除したもの

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【07業績予想】 ①業績予想ハイライト　前年比

	2007年度通期	前年比
連結経常利益	880億円	132億円
在庫評価の影響	110億円	82億円
連結経常利益 （在庫評価の影響除き）	770億円	50億円

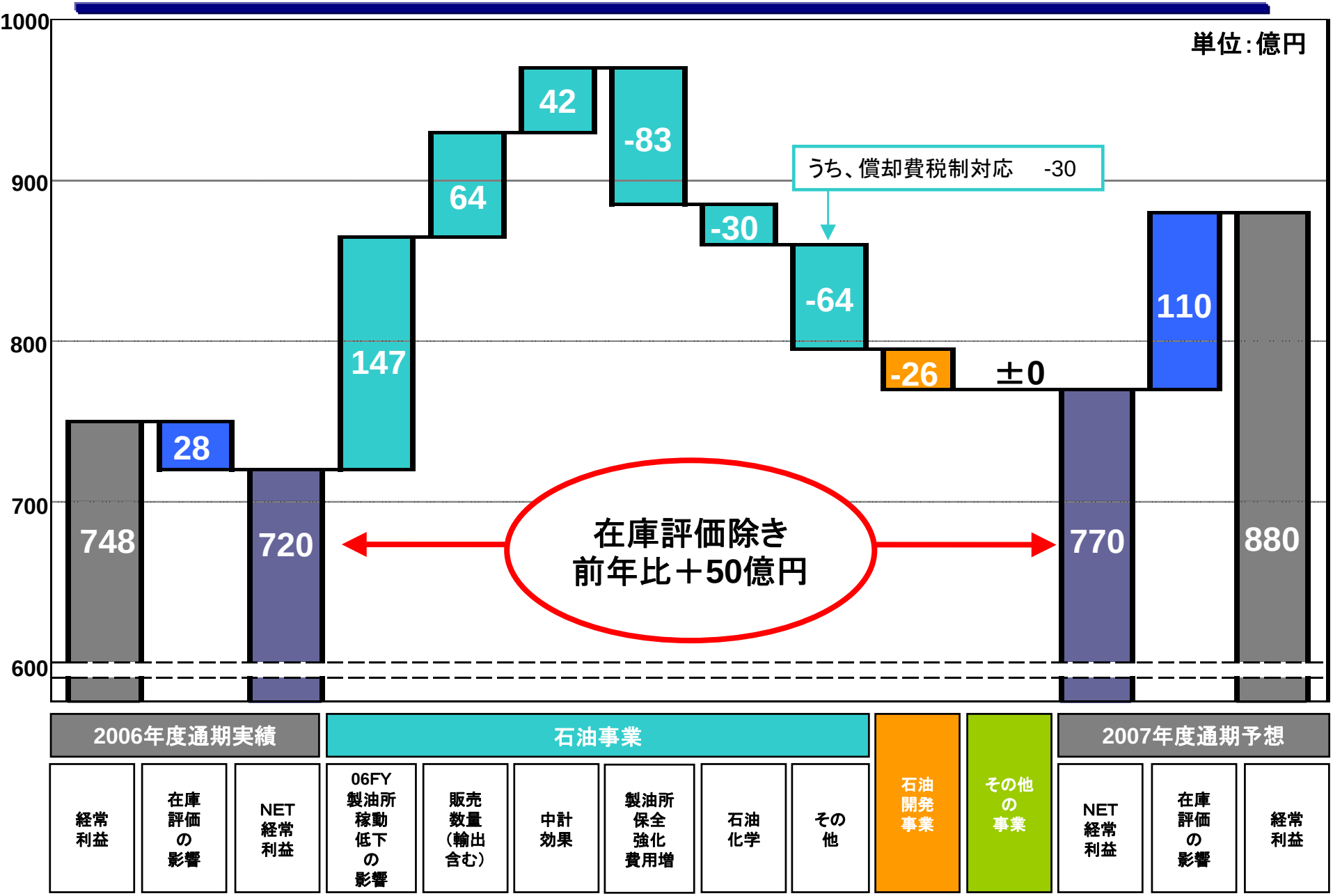
連結経常利益（在庫評価影響除き）　前年比　50億円増益の主な要因

プラス要因	製油所稼動低下影響（前年度）の解消
	販売（輸出含む）数量増、中計効果
マイナス要因	製油所保全強化費増
	石油開発・石油化学会社の減益、減価償却費増

※1：諸元データは、補足資料1・2を参照下さい
※2：セグメント別の業績予想については、補足資料5を参照下さい

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【07業績予想】②連結経常利益　前年比　増減分析



【単体中計】「付加価値向上・合理化」の最終仕上がり見通し

3カ年（05～07FY）合計

改善額見通し **212億円**

達成率見通し **101．8%**

※単位：億円

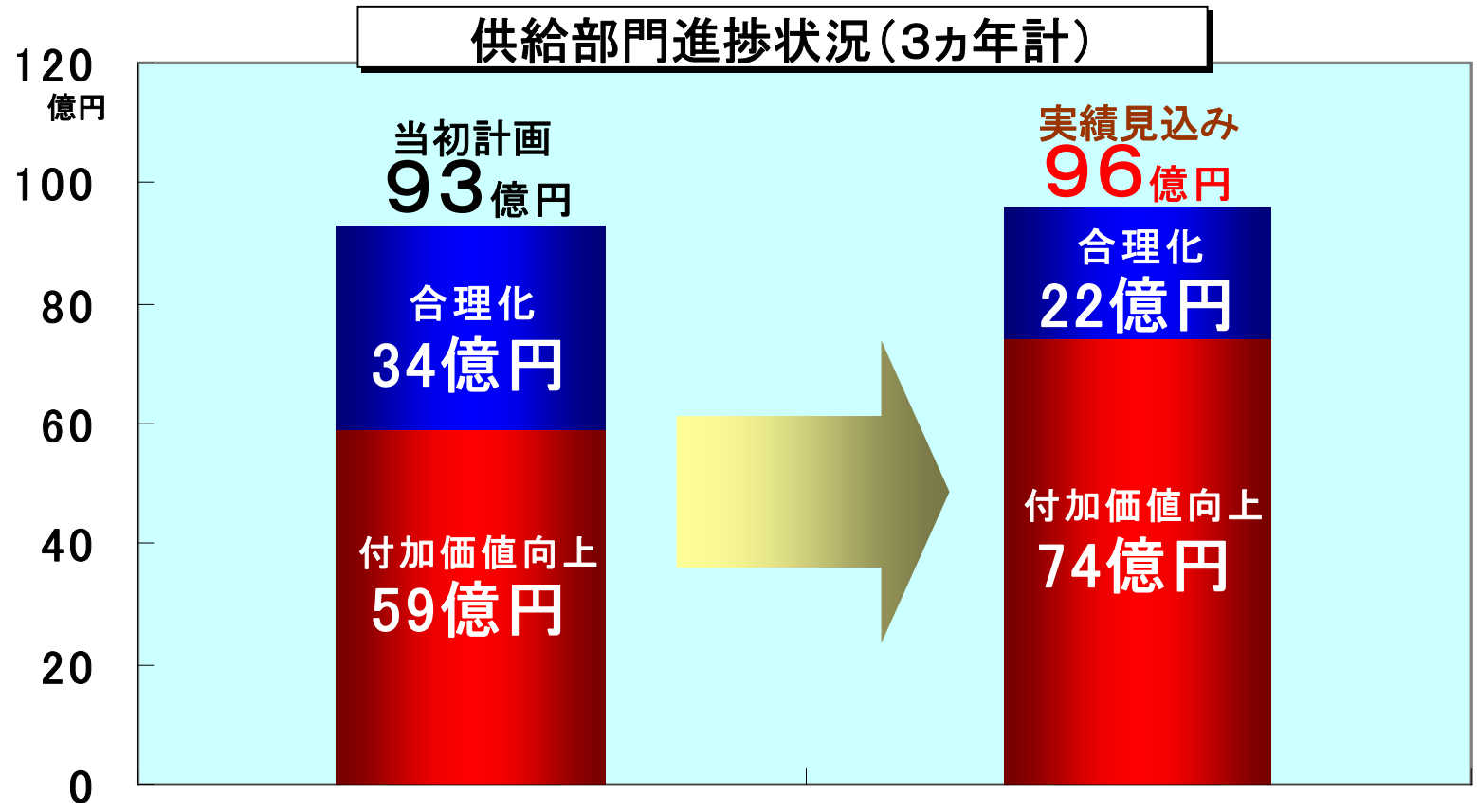
項目	部門	05～06年度実績 (①)	07年度見通し (②)	中計3カ年合計 当初計画 (③)	実績見込み (④=①+②)	差 (④－③)
付加価値向上	供給部門	63	11	59	74	15
	販売部門	71	21	85	92	7
	その他部門	0	0	5	0	−5
	小計	*135*	*31*	*149*	*166*	*17*
合理化	供給部門	21	1	34	22	−12
	販売部門	5	7	15	12	−3
	その他部門	9	3	10	12	2
	小計	*35*	*11*	*59*	*46*	*−13*
総合計	供給部門	85	11	93	96	3
	販売部門	76	28	100	104	4
	その他部門	9	3	15	12	−3
	合計	*170*	*42*	*208*	*212*	*4*

【単体中計】単体・供給部門の取り組み内容

供給部門
「付加価値向上・合理化」

実績見通し（3ヵ年計）
96億円

達成率見通し（3ヵ年計）
103．3%



製油所高度化投資／装置相互利用／カーブ軽油卸売事業について

製油所高度化投資

◆プロジェクトの概要
- 建設地：堺製油所
- 設備投資額：約1,000億円
- 運転開始時期：2010年度

◆設備の概要
- 重質油分解装置（コーカー。25千バレル/日）
- 分解軽油水添脱硫装置（25千バレル/日）
- ナフサ水添脱硫装置（17千バレル/日）

目的・狙い
- ◆原油の重軽格差の活用
- ◆需要の白油化対応

新設装置相互利用

◆内容
- 太陽石油が計画中の残油流動接触分解装置（RFCC）と、当社が計画する重質油分解装置（コーカー）群の相互利用

◆契約期間
- 2006年12月5日～2014年3月31日（自動延長条項付き）

カーブ(注)軽油卸売事業参入

◆内容
- 販売地域：米国西海岸市場（南カリフォルニア）
- 販売数量：当面400～600千KL/年程度
- 販売開始：2007年5月
- 販売形態：ローリー向けラック販売/パイプライン販売

特徴
- ◆特別な製品を生産し販売する（単なる低硫黄品ではない）
- ◆現地に出荷拠点を確保
- ◆ユーザーに近い販売形態（ユーザーのローリーが直接基地に引き取りに来る）

（注）カーブ…California Air Resources Board（カリフォルニア州大気資源局）

【単体中計】単体・販売部門の取り組み内容

経営環境の変化

- 原油価格高騰による
  SS店頭価格高騰の長期化
- ガソリン需要が減少傾向へ

⇒

- 低価格志向の高まり
- SS、ブランドの選別が更に厳しく

基本方針

販路構成改善・油種構成改善・マスチャネル強化の推進

強化ターゲット
（従来より継続）

販路	油種	チャネル
出資店・地場店	ガソリン・軽油	SS

戦術テーマ

出資店

強化戦略の継続

- セルフSS
  セルフ志向への対応
- Auto B-cleネットワーク
  カーケアサービスの充実
- コスモ・ザ・カード
  利便性の提供
  ザ・カード・オーパス発券開始

ノウハウの水平展開

地場特約店

パートナーシップ強化

- セルフSS
- Auto B-cleネットワーク
- コスモ・ザ・カード
- 特約店経営改善

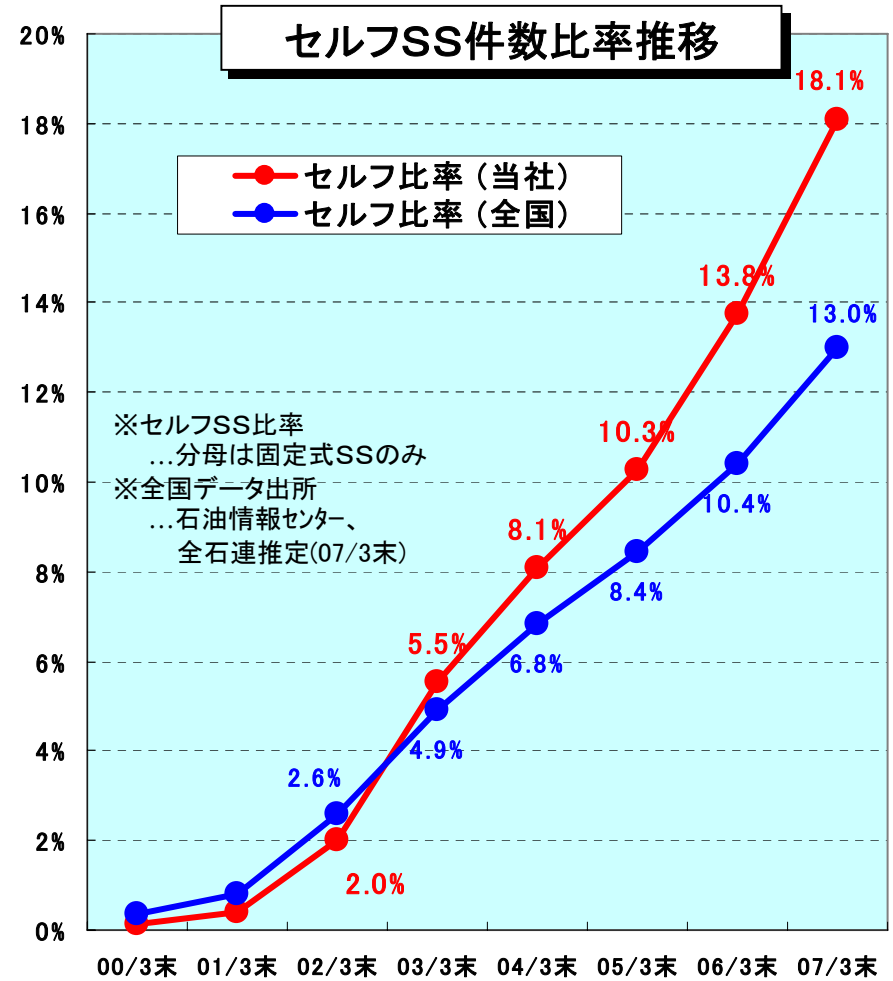
【単体中計】単体・販売部門　施策の進捗状況

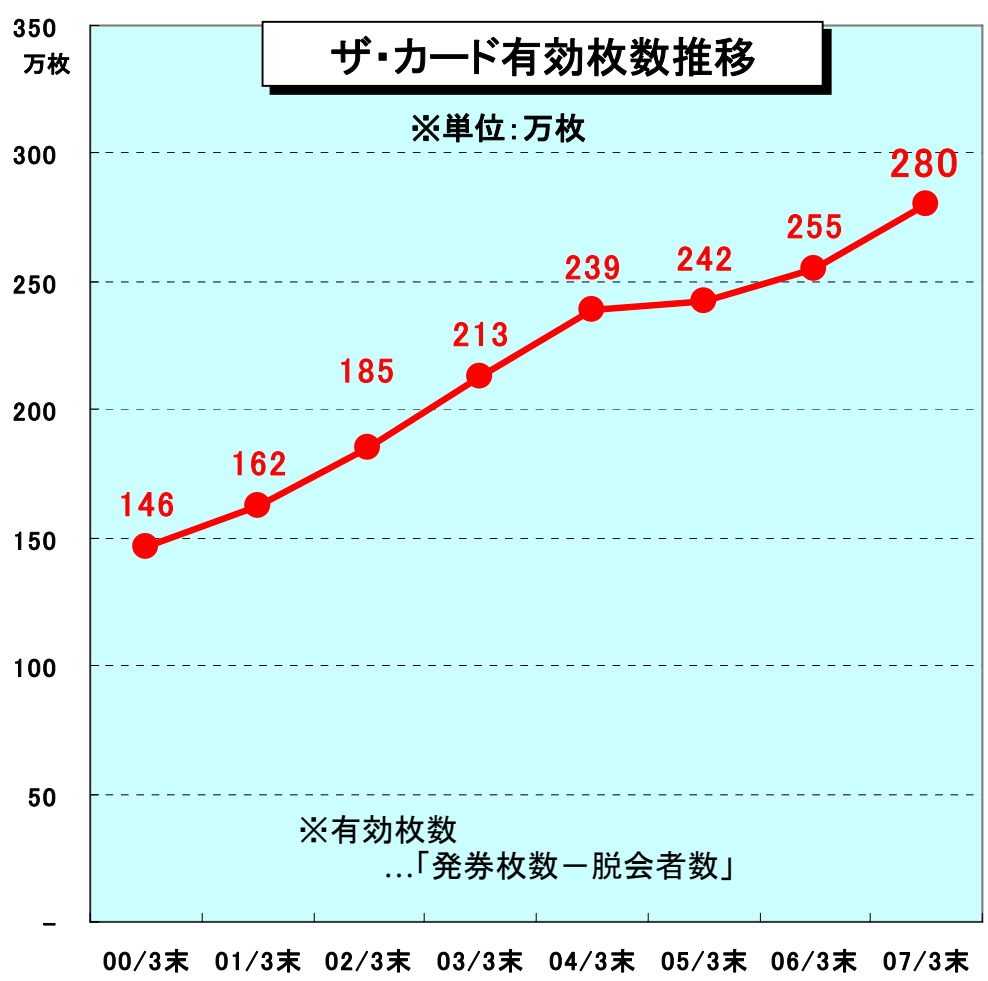
セルフSS展開

06年度末現在：789SS
（通期展開数…163SS）
セルフSS比率…18．1%

ザ・カード発券

06年度末現在：280万枚
（06年度増加数…25万枚）





【石油開発】各社実績推移と今年度計画

◆石油開発部門の損益実績・見通し

石油開発
セグメント
経常利益

06年度実績

486億円

ドバイ原油実績：61．5$/B

07年度見通し

460億円

ドバイ原油予想：58．9$/B

※原油価格出所：PLATT'S誌（06年度、07年1-3月）及び当社想定（07年4-12月）。
※「年度」は1－12月を示します。

◆カタール石油開発の進捗状況

プロジェクト概要

▼生産期間
・2006年～2016年
▼生産量
・初期：約　6千バレル/日
・最大：約10千バレル/日

06年度までの取り組み

2006年3月13日～
商業生産開始

06年度生産数量
6，125バレル/日

07年度の取り組み

07年度中に
10千バレル/日へ
増産予定

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

ラファン・リファイナリー社への出資について

ラファン・
リファイナリー社へ
10%出資

◆カタール国との信頼関係、
パートナーシップの更なる強化
◆事業領域のグローバル化の推進

原油開発・石油精製に限らず、天然ガス事業・石油化学事業など幅広い分野で、カタール国における事業を発展させていきたいと考えています。

◆ラファン・リファイナリー社の概要

- ・設立年月 :2006年9月
- ・所在地 :カタール国ドーハ
- ・製油所能力 :146,000ﾊﾞﾚﾙ/日
- ・生産品 :ナフサ・灯油・軽油・LPG
- ・プロジェクト総額 :約8億米ドル

- ・出資比率
  - カタール国営石油会社 :51%
  - エクソンモービル :10%
  - トタール :10%
  - コスモ石油 :10%
  - 出光興産 :10%
  - 丸紅 :4.5%
  - 三井物産 :4.5%

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【石油化学】CMアロマ㈱の取り組み推移と今期計画

●2005年度の取り組み

・CMアロマ㈱が、ミックスキシレンの製造・販売を開始（生産能力10万トン/年。7月～）。

通期損益状況

項目	実績（億円）	前年比（億円）
売上高	169	---
経常利益	10	---

●2006年度の取り組み

・27万トン/年に能力増強（7月～）。
（コスモ松山石油（3万トン/年）と合わせ、グループ生産能力30万トン/年となる）

・ミックスキシレン市況高騰もあり、経常利益53億円の実績。

通期損益状況

項目	実績（億円）	前年比（億円）
売上高	459	+290
経常利益	53	+43

●2007年度業績予想

・能力増強効果の通年寄与により増収を見込むものの、昨年ほどの市況高騰は見込めないことから、45億円の経常利益を想定。

・中計目標比では＋24億円を予想。

通期損益予想

項目	予想（億円）	前年比（億円）
売上高	517	+58
経常利益	45	−8

中計目標（経常利益）	… 21億円

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

補足資料

1.【実績・予想前提】 原油コスト・処理量、稼働率、原油生産数量

2.【実績・予想前提】 販売価格・数量

3.【実績・見通し】 石油単体　中計進捗総括表

4.【06FY決算】主要連結会社・セグメント別実績：05年度実績比

5.【07FY予想】セグメント別予想：06年度通期実績比

6.【決算・予想】在庫評価の影響除きのEBITDAの推移

7.【実績】人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【実績・予想前提】原油コスト・処理量、稼働率、原油生産数量

補足1

＜＜原油コスト・処理量、稼動率＞＞

		06年度実績	増減	伸び率	07年度通期前提
受入原油	原油(FOB)$/BBL	61.94	7.63	ー	60.00
	為替レート¥/$	116.98	4.13	ー	120.0
	受入原油代(税込)¥/KL	48,880	6,920	ー	ー
原油処理	原油処理量千KL	27,283	△ 3,424	88.8%	112% ※1
	トッパー稼働率（CD）	77.3%	△11.6%	ー	ー
	トッパー稼働率（SD※2）	88.3%	△6.9%	ー	ー

※1 処理量見通し　参考　前々年比伸び　99.5%

※2 SD　定期整備等の影響を除いた稼働率

＜＜原油生産数量＞＞

		06年度実績	出資比率
石油開発会社生産量※3	アブダビ石油（B／D）	23,745	63.0%
	カタール石油開発（B／D）	6,353	85.8%
	合同石油開発（B／D）	18,293	35.0%

※3 生産量　プロジェクト会社の期中平均生産量。当社の引き取り量は、出資比率相当分

12月決算会社のため生産期間は1ー12月

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【実績・予想前提】販売価格・数量

補足2

＜＜販売価格・数量＞＞

		06年度実績	増減	伸び率	07年度通期前提
販売価格	販売価格（円/KL）	52,250	9,340	―	―
国内販売数量	ガソリン	6,813	△ 146	97.9%	102.5%
	灯油	2,900	△ 607	82.7%	108.0%
	軽油	4,783	△ 48	99.0%	101.0%
	A重油	3,193	△ 602	84.1%	95.2%
	4品計 （千KL）	17,688	△ 1,403	92.7%	101.7% ※1
	ナフサ	7,103	△ 62	99.1%	97.4%
	ジェット	479	143	142.5%	106.1%
	C重油	2,659	△ 468	85.0%	98.2%
	内需燃料油（千KL）	27,929	△ 1,790	94.0%	100.3% ※2
	ハイオクレシオ（%）	15.62%	△ 0.63%	―	―
輸出数量	中間留分計（千KL）	1,046	83	108.6%	151.1%
総販売数量	総販売数量（千KL）	44,617	△ 1,697	96.3%	100.2%

※1 4品販売数量見込み　　参考 前々年比伸び 94.2%

※2 内需燃料油販売数量見込み 参考 前々年比伸び 94.3%

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【実績・見通し】石油単体　中計進捗総括表

補足3

項目	部門	2006年度実績 上期実績	2006年度実績 下期実績	2006年度実績 通期合計	2006年度実績 達成率	2007年度通期見通し
		（億円）	（億円）	（億円）	（%）	（億円）
合理化	供給	3	3	6	88%	1
	販売	5	0	5	100%	7
	管理他	2	3	4	100%	3
	小計	10	5	15	95%	11
付加価値向上	供給	13	2	15	100%	11
	販売	7	16	22	95%	21
	その他	0	0	0	−	0
	小計	20	18	38	99%	31
総合計		30	24	53	99%	42

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【06決算】主要連結会社・セグメント別実績：05年度実績比

補足4

単位：億円

＜＜主要連結会社別＞＞

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		前年比		前年比		前年比		前年比
コスモ石油	28,312	3,359	83	△ 668	76	△ 680	13	△ 452
アブダビ石油	654	△ 40	406	100	409	89	82	21
カタール石油開発	126	126	39	40	35	35	12	12
販売子会社	4,003	424	8	△ 14	5	△ 12	△ 23	△ 19
コスモ石油ルブリカンツ	403	69	35	23	35	22	20	12
コスモ松山石油	302	52	14	△ 2	14	△ 2	8	△ 1
CMアロマ	459	290	52	42	53	43	20	16

※当期純利益は当社持分相当額です

＜＜持分法投資損益＞＞

	実績	前年比
持分法投資損益	99	3

＜＜設備投資・減価償却費＞＞

	実績	前年比
設備投資	361	43
減価償却費等	378	95

＜＜セグメント別＞＞

	売上高	営業利益	
			前年比
石油事業	29,845	257	△ 578
石油開発事業	781	435	141
その他の事業	855	16	6
消去他	△ 854	△ 12	15

【07業績予想】セグメント別予想：06年度通期実績比

補足5

単位：億円

＜＜セグメント別業績予想＞＞

	売上高	営業利益		経常利益		経常利益（在庫評価の影響除き）	
			前年比		前年比		前年比
石油事業	30,780	460	203	428	158	318	76
石油開発事業	750	420	△ 15	460	△ 26	460	△ 26
その他事業	870	20	4	21	4	21	4
消去他	△ 800	△ 10	2	△ 29	△ 4	△ 29	△ 4

石油事業　：コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ、
コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学（持分法適用会社）他

石油開発事業　：アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発（持分法適用会社）他

その他事業　：コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス他

＜＜設備投資・減価償却費＞＞

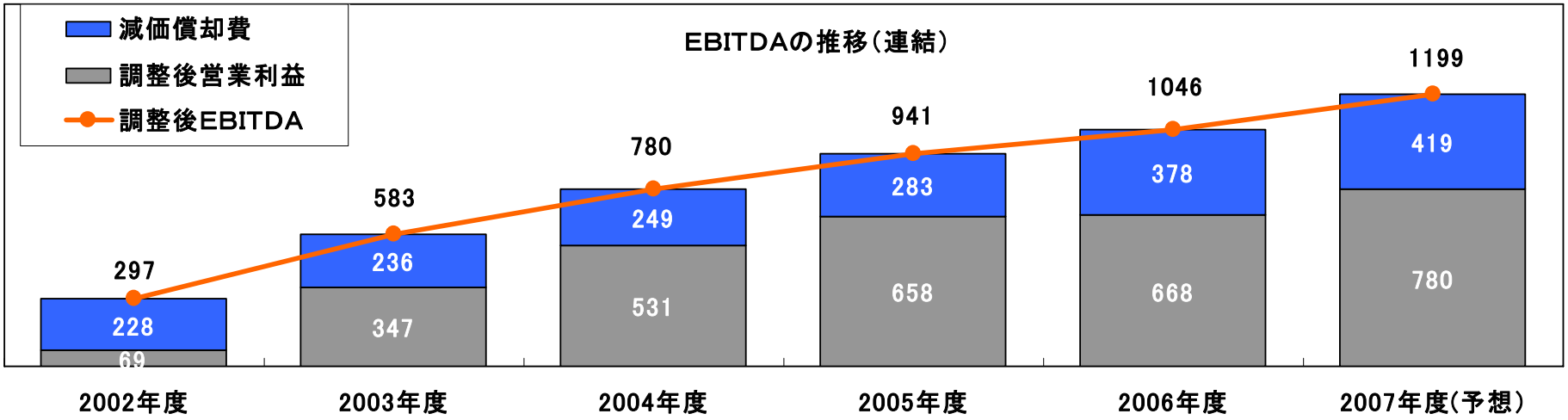
	予想	前年比
設備投資	432	71
減価償却費等	419	41

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

【決算・業績予想】連結　在庫評価の影響除きのEBITDA推移

補足6

単位：億円



	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度（予想）
会計上の営業利益	242	252	657	1,112	696	890
総平均法による在庫評価の影響（符号：対利益）	173	−95	126	454	28	110
調整後営業利益（会計上の営業利益－在庫評価の影響）	69	347	531	658	668	780

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

COSMO OIL CO., LTD.
http://www.cosmo-oil.co.jp

【06実績】人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移

補足7

人員数推移

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末
石油単体	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837	1,764	1,729	1,718	1,893
グループ	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736	3,565	3,480	3,451	3,335

※グループ：石油単体＋出向

油槽所数推移

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末
DT数	52	45	41	39	39	38	38	38	38

SS数推移(可搬式を含む)

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末
社有	1,105	1,065	1,010	977	959	930	899	886	901
自己	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,112	3,912	3,760	3,515
合計	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,042	4,811	4,646	4,416

上記のうち、セルフSS数及びAuto　B-CleSS数

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末
セルフ	5	8	23	109	285	398	483	626	789
Auto B-Cle	–	–	–	217	428	652	652	469	445

コスモ・ザ・カード枚数推移（07年3月末はオーパスも含む数値）

	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末
有効枚数（万枚）	146	162	185	213	239	242	255	280

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

Copyright © 2007 COSMO OIL CO.,LTD. All Rights Reserved.